



HANS ANDERSEN

“英語ミュージカル”

2025.3.16 垂井町文化会館大ホール





ごあいさつ

今回は、「おやゆびひめ」「みにくいアヒルの子」「人魚ひめ」「はだかの王様」など、誰もが一度は読んだことのある童話の数々、これらを書いたハンス・クリスチャン・アンデルセンの若き日を、英語ミュージカル「アンデルセン」としてお届けしたいと思います。

ハンスは1805年、オーデンセの町に生まれ、子どものころ靴職人の父が他界します。居場所をなくした十代の少年の心中を思うと胸が締めつけられますが、ハンスは意気揚々と一流の舞台関係者のもと、コペンハーゲンへ旅立つのです。この度胸、楽天性がハンスの強さであり、彼の将来性を見込んだ人々の援助によって彼は執筆修行を始めます。

彼の童話は砂糖菓子のような甘い物語ではなく、悲しい結末も少なくありません。ハンスは生きている私たちの誰もが経験する悲しみを美しい文章で書いたからこそ、その童話は死後100年を超えても世界中の人々に愛されているのです。

3月に入り、それぞれ学校や年齢が違う子どもたちみんなで力を合わせ、この物語を作ってまいりました。

子どもたちは今回はどんな輝きを見せてくれるのでしょうか。
どうぞ、私たちの「ハンス・アンデルセン」をお楽しみ下さい。



ハチスチルドレンズセンター 園長 野部眞優美







